

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194600094		
法人名	社会福祉法人 慧誠会		
事業所名	帯広けいせい苑 グループホーム はるか(1階)		
所在地	帯広市西18条南2丁目6-4		
自己評価作成日	令和元年1月10日	評価結果市町村受理日	令和2年4月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0194600094-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号
訪問調査日	令和2年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様一人一人の今までの暮らしに目を向け、希望や要望に沿った暮らしが出来る様に個別での外出や取り組みを提供するように心掛けています。日々の生活でも役割を持ち、季節に合わせた行事の開催やホールの飾りつけも楽しみながら利用者様ご自身で出来る様にお手伝いさせて頂いてます。
また食事も施設でご用意する献立の他に、その方の好きな物をご家族様にご協力を頂いてご用意しています。起床時間や就寝時間もその方のサイクルに合わせて対応しています。御家族様とは面会時は勿論、行事にご参加頂いた時には同じテーブルについて食事をしながらゆっくりとお話を伺う時間を設けてコミュニケーションを図り、何でもお気軽に話して頂ける様な関係作りにも努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、都心部から少し離れた静かな住宅街に位置し、周辺にはスーパー、商店街、病院などがあり生活の利便性に恵まれている。母体法人の小規模多機能ホームと介護支援事業所が併設されており、合同で開催する避難訓練や事業所行事の感謝祭等には両施設との交流と地域住民も参加して交流している。利用者は、町内の行事や地域サロン等に参加して地域の一員として交流を深めている。永年の地域との交流から行事等への協力が得られており、事業所が地域の中心的存在になっている。災害時における事業所施設利用の要望も出ている。「個別の日」を設けて利用者個々の思いに合わせ、買い物や外食、法人のバスを利用して周辺の催事の見物に行くなど日常生活に潤いと変化を提供するよう工夫している。法人は職員の育成に努め、法人内に育成委員会を設置して、内部研修、外部研修に参加させ質の高いケアに努めている。事業所に隣接している河川は将来的に水害の可能性を見つつ、運営推進会議で提案されており、水害だけでなく複合的な災害が生じた場合のマニュアルのバージョンアップを検討している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない		4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある	○	2. 数日に1回程度
			3. たまにある		3. たまに
			4. ほとんどない		4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが		3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない		4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない		4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが		2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが		3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない		4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が		
			2. 利用者の2/3くらいが		
			3. 利用者の1/3くらいが		
			4. ほとんどいない		
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)				
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)				
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)			○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)			○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う			○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う			○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人のケア理念を玄関に掲げ、利用者様やご家族様に見て頂くのは勿論、職員が仕事に入る前に目を止める様にしています。また、定期的に職員研修にてケア理念の実施について勉強しています。	事業所独自の理念を玄関に掲示し、ケア会議等で全員で共有しながら、日々のケアを通して定期的な理念の見直しを考慮している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、観楓会や清掃活動、花壇作りに参加させて頂いたり、感謝祭やお子様向けの青空サロン・大人向けの星空サロン等の行事を企画して地域の皆様との交流の場を設けています。	町内会に加入し、散歩時に挨拶を交わし、町内会の行事に参加したり地域サロンにも参加する等、地域との交流を深めている。事業所のイベントには地域住民が参加し、子ども落語やドッグセラピーが来訪する等、利用者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営促進会議を通して情報発信を行ったり、交流会の際は地域の方々とお話する機会を設けて、グループホームでの暮らしをお話したり、認知症についての質問があればお応えしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員の方と情報交換を行い、町内の事、帯広市の事等幅広い分野ではるかに不足している事や町内について理解し地域に根ざせる様にしている。	年6回開催し、地域包括支援センター職員、知見者、家族等が参加し、運営報告や利用者の生活の様子等を報告しながら、意見や助言を得て、運営に反映するよう活かしている。	議事録については、概要の報告ではなく、誰がどのような意見や要望を発言しているかがわかるよう詳細な内容で作成する事を期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員として、地域包括支援センター職員が参加しています。	市担当者とは、事業所の実情や生活保護関係などで訪問したり電話でやり取りしながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設マニュアルの配布や各チームにいる委員を中心に定期的に職員会議内で身体拘束についての勉強会を行なっています。また、委員が外部の研修会に参加してそれを全体に広めています。	身体拘束委員会は2ヶ月毎に開催して、議事録を作成している。拘束となる行為とそれに伴う弊害は、会議等で情報を共有し、身体拘束をしないケアに努めている。徘徊について、万一発生した場合にはマニュアルに添った初期対応を重視している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と併せて虐待についても勉強会で話し合う機会を設けています。また、管理者が職員に個別で面談を行い、職員一人一人の話に耳を傾ける機会を設けています。		

帯広けいせい苑 グループホーム はるか(1階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市民後見の実習受け入れを通し制度を学ぶ機会を取り入れている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書、個人情報保護等について、ご本人、ご家族に十分な説明を行い、理解同意を頂いてから契約を行っている。定期的に内容の検討を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表に参加して頂き各行事に参加頂き意見を頂いている。又運営に関する課題等にも意見を聞き取り入れている。面会時や行事の機会に随時意見、要望を聞かせて頂いています。	家族の面会や電話連絡の際に、利用者の様子を伝えながら話を聞くようにしている。利用者の暮らしぶりは、定期的な家族通信を発行したり、個別のお便りで知らせている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各事業所ごとの会議や役職会議、統括会議を行い、それぞれ会議で得た情報の伝達、状況把握を行い、運営に関わる提案の機会を持ち検討を行っている。	日々の業務を通して、管理者と職員間で意思疎通が十分できており、会議等で意見や要望が出された場合はそれを運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新人職員にはお世話係りを付け、1年間を通して育成を行ってゆき、双方が学べるような環境が作られている。又、スタッフ個々が普段感じている事を管理者が把握する為に、面談を行い今後のサポートに繋げている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	委員会を作り、各委員会で研修参加や勉強会を開催し学ぶ機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研修、小規模多機能研修、ケアマネ研修に参加し、ネットワーク作りや知識向上の機会を持っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用前に面接を行い、ご本人やご家族様・関係機関より生活歴などの情報や不安な事やご要望をお伺いし、必要なケアを行っています。入所時には歓迎会を行ったりウェルカムボードを作成し、他利用者様や職員に早くなじんで頂ける様に働きかけしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に見学にご来苑頂いた時には、施設内のご案内や日課などのご説明した上で、利用者様のご様子やご家族様の不安や現在の状況などを詳しく傾聴するようにしています。また、毎月ご家族あてに写真付きのお手紙を送らせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	頂いた情報を元にチーム内でカンファレンスを行い、その方に必要な支援やケア方法について職員間で情報を共有しながらすすめ、ご本人のこだわりや習慣・趣味活動等も継続して行けるように支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備やおやつ作り、洗濯等の家事作業や季節にそったホール内の飾りつけなど、利用者様本人が得意とする作業を提案し、一緒に行う事で生活の中で活躍する機会を設けています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご面会に来苑された際に細かくご本人の様子をお伝えするのは勿論、毎月写真付きのお手紙をお送りし、近況をお伝えしています。また、受診の際は同行頂いたり、施設行事にはご家族様皆さんでご参加頂ける様にお声掛けしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域サロンに参加して頂いたり、月に数回個別対応の日を設けて馴染みの場所や自宅までドライブに出掛けたり、猫カフェやスーパー、喫茶店・温泉などへの外出を行っています。	日々の会話から思い出の人や場所などを把握し、不明な場合は家族に確認しながら情報を職員全員で共有している。地域サロンに参加したり、町内の行事に参加したりして馴染みの関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全体、または少人数での外出やレクリエーション活動を通して交流の場を設け、定期的に席替えやフロアの配置換えを行い、状況を見ながらお一人お一人が気持ちよく過ごして頂ける様に努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族のご要望に応じて、次のサービスへの相談・申請支援を実施しています。また、ご本人の様子や今まで集めていた情報を詳しく申し送り、これまでの生活と変わらず過ごして頂ける様に支援しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当職員を中心に日頃の会話や訴え、ご様子からご本人のご希望や意向をくみ取り、チームノートや職員会議で情報を共有しながら実現するための話し合いを行っています。	日常生活を通して思いや意向を把握し、記録に残して職員で共有し、利用者の希望に添えるよう努めている。また、意向等を上手く伝えられない利用者に対しては、普段からの様子や状態を注意深く観察し、汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に他職種で面接を行い、利用者様やご家族様・関係機関に詳しくお話を伺っています。また、ご面会時にもその方との御関係や、以前のご様子をお伺いするなど情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録やチームノートへの記入を行い、勤務交代の際にはその日あった事を細かく口頭で申し送っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の会話の中でご本人の思いを伺ったり、面会時にご家族様のお話を聞きした上で毎月の職員会議で報告し、チーム職員全員で対応を検討し介護計画に反映させています。	利用者や家族の希望を聴き、職員の気づき等も参考にして、利用者の状態や思いを大切にしながら暮らしに反映できる介護計画が6ヶ月毎に計画作成担当者により作成されている。利用者の状態に合わせて随時見直しや定期的見直しが適切に行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録やチームノートへの記入、申し送り時に職員間で情報を共有しながら、話し合いが必要な時は職員会議を開催し必要時は介護計画を見直し、実施方法等も統一したケアを心がけています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて法人内の専門職に助言を頂いたり、歯科往診・マッサージ・訪問介護・介護タクシー等利用しながら、ご本人に必要な支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃から町内会での行事に参加させて頂き、施設行事の際には回覧板でお知らせしてお気軽に参加して頂ける様にお声掛けしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診の際には必ずご家族様に経緯をお伝えし同意を頂いてから、かかりつけ医があればそちらに受診しています。また、毎月の往診時には情報提供と必要時は結果をご家族様にご報告しています。	かかりつけ医受診の継続を支援している。基本的には家族対応での受診になっているが、職員が付き添い受診することもある。家族同行の場合はホームでの様子を文章にて医師に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調変化を報告、通院後の受診記録、薬情報を報告しています。体調・状態変化時には、看護職員や担当医師に相談できる体制を取っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には施設での状態を伝え、入院後にも定期的な面会や家族との電話で状況把握に努めています。ムンテラにも参加し、退院後の緊急時に備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の在り方は早い段階で本人、家族と話し合いを行っています。事業所で出来る事を説明しながら方針を共有していくと共に地域関係者とチームで支援に取り組んでいます。	入居時に「重度化した場合における対応指針」に基づき説明し同意を得て、職員は勉強会を実施しながら意識の共有を図っている。体調の急変等で医療的判断を仰ぐ場合は、主治医に相談助言を求めながら、今後の予測と方針について段階毎に家族等に看取りか入院の意思確認を行うこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを素に事故発生時にも迅速に対応出来る様に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中と夜間を想定し年2回の避難訓練を実施しています。地域の方々にも参加して頂き、また運営推進会議でも議題に挙げ地域に状況確認を行うなど、日頃から交流を持ち関係を深めて災害時の協力と理解を得ています。	消防署の指導を受けて、昼夜想定して年2回の避難訓練をしている。地域住民や運営推進会議出席者も参加している。近頃の川による水害時想定にも法人全事業所間の協力体制が確立されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、プライバシーを大切にすることを意識して接しています。言葉遣いを職員間でも常に注意しています。認知症の理解についてもチーム会議で話し合ったり、研修会にも参加して認知症の理解に努めています。	尊厳について職員間で話し合う機会を設けて、外部研修や内部研修で一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけがないよう学び、職員間で共有している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人の思いや訴えを言葉や嗜好、行動、表情から感じ、望んでいる事を支援しています。本人が決定する事を大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に、その日をどう過ごしたいのか希望に沿って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来る様に支援しています。		

帯広けいせい苑 グループホーム はるか(1階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、おやつ作り等、利用者様が役割を持ちながら一緒に行って下さっています。また、それぞれ嗜好や体調を聞き取りながら好みに合わせた食事を提供しています。	利用者は能力に応じて、食事の準備や後片付けを行い、職員と一緒に食事を楽しんでいます。行事食は季節に合わせた楽しみを取り入れ、誕生食や外食は利用者の希望に合わせた楽しい食事の提供に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量は記録に残しどれだけ食べれているのか職員間で情報を共有している。好みや体調など本人に聞きながらそれに合わせた食事や補食を提供しています。また、自力での摂取が困難な方に対しては必要に応じ介助を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けや用具の準備、義歯洗浄、ブラッシング介助など必要に応じ支援をして口腔の清潔保持に努めています。また、必要に応じ歯科衛生士のケアを受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄リズムを把握しながら、随時、声掛けやトイレ誘導を行っています。また、記録から下剤等の調整を行っています。	排泄チェック表をもとにパターンを把握して、トイレ誘導して出来るだけトイレでの自立排泄を促している。失禁時には清拭での対応をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトやプルーン、オリゴ糖などお腹の働きに良いと言われる物の提供をしたり、水分を勧めたり一緒に体操等身体を動かす機会を設けるなどして便秘の予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の身体状況にあわせ週2回～3回は入浴し、必要に応じて車椅子浴も行っています。	週2～3回の入浴ができ、嫌がる利用者にはタイミングや職員を変える等、状況を見ながら支援している。心身の状況で入浴日以外にも柔軟な対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣や体調に合わせて居室やホールで休める様に環境を整えたり声を掛け、その日1日を元気に過ごせる様に対応させて頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の効用や副作用を理解して症状の変化などにも気を付けている。処方された薬でも利用者にとって合っているか看護師や薬剤師と相談する事もある。服薬の際は氏名・日付・時間を職員間で確認し、誤薬が無いように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯・掃除・食事の盛り付けなどの家事作業や、毎日の体操やレク活動、外出の機会など設けています。御本人とお話をしながらやりたい事や楽しみを探りながら張りのある生活を提供出来る様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1人1人に楽しんで頂ける様、個別の日という個別での活動を実施しています。一緒におやつを買いに行ったり、生まれ故郷に行ったり等、職員が考えたり、希望を聞きながら外出を行っています。	利用者の要望により外出支援を行っている。日常的に買い物や周辺の散歩を行ない、ドライブにより遠方に出掛ける等利用者の希望に応じた外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自分で管理されている方もおり、買いたい物があつた時には職員が付き添い買い物をしていきます。預り金をさせて頂いていない方は買物の際はGH立て替えにて支払っています。支払いを心配される方でも立て替えの事を説明し、納得されて安心されています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者から電話や手紙を出したいとの話があつた際はまず話を聞き、話を聞いたうえで電話のダイヤルや手紙の投函など必要なお手伝いをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を保てる様、整理整頓や温度調節等環境整備に心掛けています。	事業所の中心に明るく清潔感のある広い共用空間があり、調理室と事務室からは利用者の状況を把握できるような配置になっている。季節感ある飾りつけや利用者の作品、イベント時の写真などが飾られ居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者本人の意向も汲みながら食事テーブルや席の配置を行っています。くつろげるスペースも必要に応じて配置を替えてそれぞれが気持ちよく過ごせる様に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごして頂く為に本人と相談しながら使いやすい様に家具の配置等の環境整備を行っています。また本人が使い慣れた物をご家族に持参して頂き設置しています。	クローゼットが備え付けられ、使い慣れた家具や位牌、利用者の思い出の品が飾られており、居心地良く過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の身体状況を考えながら、その人に合った介助用品などの検討などを行う。ご自宅から入所された方は自宅に使っていた家具を施設でのレイアウトに合う様に变化させるなど、自分で出来る事、やりたい事を安全に自信を持って行えるように工夫しながら支援をしています。		